

事業の基礎情報

実施主体	石川県小松市
事業実施地域	小松市市全域
共創の類型	官民共創・他分野共創
他分野共創の類型	まちづくり
共創パートナー	小松タクシー株式会社、石川県飲食業生活衛生同業組合小松支部、粟津温泉観光協会、あわづ温泉 喜多八、株式会社パブリックテクノロジーズ
運行形態	自家用有償旅客運送
運行主体	共創パートナーである小松タクシー株式会社の運行管理の下、住民ドライバーが運行を行う

取組の概要

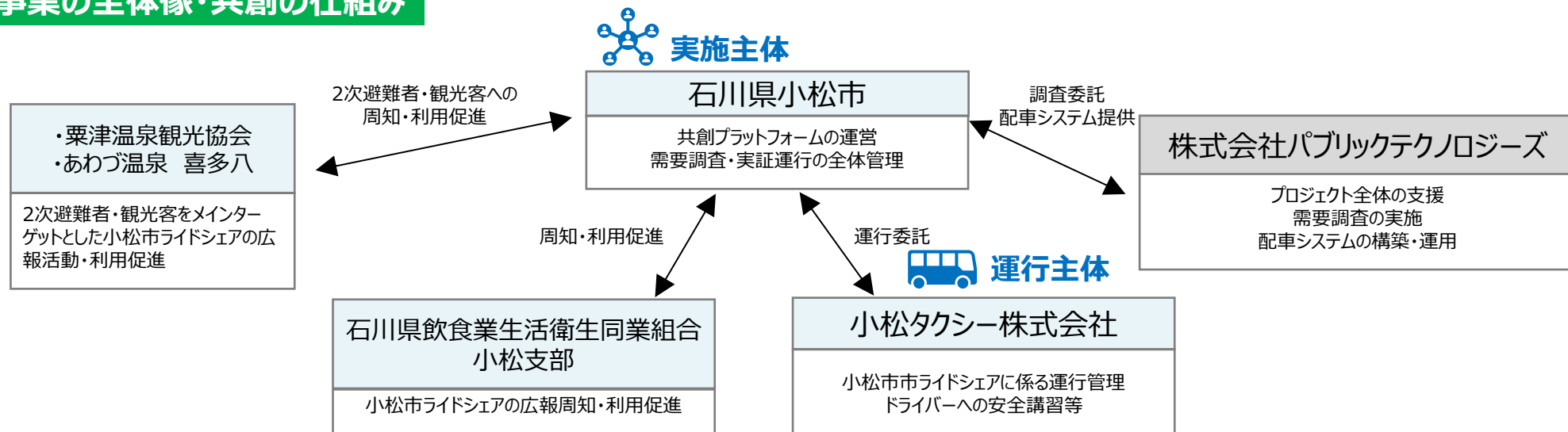
（現状の地域課題と事業目的）

小松市では、夜間を中心とする地域住民の移動手段の確保に加え、現在小松市内に避難している能登半島地震の被災者の方々や北陸新幹線の延伸による増加が見込まれる観光客の移動手段の確保も求められている。こうした状況を踏まえ、本プラットフォームでは、「小松市ライドシェア」の更なる利便性向上及び利用拡大に向けた取組を推進し、自治体、交通事業者、飲食・観光事業者及び配車システム等に知見を有する事業者の共創により、地域公共交通・域内経済の活性化を目指す。

（事業の概要）

本事業では、小松市を中心に、交通事業者、飲食・観光事業者及びアプリ・システム開発事業者が連携・協働し、地域の公共交通利用、移動需要等の実情を調査するとともに、この調査の結果を踏まえつつ、小松市ライドシェアの利便性向上・利用拡大に向けた取組を実施する。具体的には、現在小松市ライドシェアで利用している配車システム等の改善、利用できるキャッシュレス決済手段の拡大を行うほか、タクシー優先配車が可能となるシステムを導入することにより、交通事業者の理解を得ながら事業を推進する。さらに、地域の飲食・観光事業者との協力により、小松市ライドシェアの利用促進、域内消費の拡大等に取り組む。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

本事業では、小松市を中心に、住民・交通事業者とアプリ・システム開発事業者が連携・協働することにより、利用者（市民、被災者）・ドライバー・運行管理者の全体が効率的に小松市ライドシェアの運行に従事できる体制を整えることとしている。また、地域の飲食・観光事業者に協力を求め、小松市ライドシェアの広報周知、利用促進等に取り組むとともに、域内消費の活性化をも目指すこととしており、住民を巻き込んだ多様な主体の共創による公共交通サービスの向上・地域経済の活性化が実現するものと考えている。

(実証事業により見込まれる効果)

ドライバーの募集活動の強化により小松市ライドシェアの担い手を確保し、約200日台/月の交通サービス供給の増加を見込んでいる。

（事業実施手順・スケジュール）

● 現況調査

- ・公共交通の現状整理
- ・人流データの収集
- ・アンケート調査の実施
- ・ヒアリングの実施
- ・供給不足状況の可視化

●広報活動の推進

- ・飲食・観光事業者と連携した広報活動
利用促進等の実施
- ・募集活動の強化によるドライバーの確保

- キャッシュレス決済の拡大
- ・ ユーザーアプリにおいて利用できるキャッシュレス決済手段の拡大

- タクシー優先配車の実現
- ・ タクシー優先配車の仕組みによる新モードの配車基盤の実装
- ・ 地域の交通資源の層的確な配分を実現

・地域の交通費源の増強

本事業実施後においては、本事業を通じて得られた知見に基づき、更なる利用促進に取り組むとともに、ドライバーの募集活動を起点とした地域公共交通の担い手の確保に取り組み、令和7年度以降も運行を継続する予定である。

【スケジュール】

[illegible]